



おのみち100km 徒歩の旅 20th Memorial Book



NPO おのみち寺子屋

目次

1. 理事長挨拶	…1
2. 来賓祝辞	…2
3. おの100の目指すモノ	…3
4. 5日間のコース紹介	…4
5. コラム 歴代 OBOG に聞きました「ランキング」	…9
6. 20年間のおの100の歩み	…10
7. コラム 歴代 OBOG に聞きました「今に生きていること」	…17
8. 未来を担う NewHope たち	…18
9. コラム 歴代 OBOG に聞きました「思い出」「好きなところ」	…20
10. おの100LOVERS に思い出インタビュー	…22
11. 当時の仲間であ〜んまり語っちゃいました。座談会	…24
12. 100kmを支えて下さったみなさま	…26
13. おの100オリジナルテーマソング	…28
14. 編集後記	…29

理事長挨拶

過去が咲いている今、未来の蕾でいっぱいな今

NPOおのみち寺子屋
理事長 柿本 和彦



平成15年8月6日。

しまなみ交流館前で、『おのみち100km 徒歩の旅』の初日がスタートしました。

当時、(社)尾道青年会議所の理事長として、『青少年の生きる力を育みたい!』『メンバー全員が一枚岩になる事業を実施したい!』そうした想いで始めた“おの100”ですが、今日に至るまでさまざまなドラマがありました。

もちろん参加小学生が完歩に至るまでのドラマもありますし、学生スタッフが子どもたちをサポートする中でのドラマ、“本番”を運営していく中でのドラマ、そして、次の年にタスキをつないでいく中でのドラマ。今、思い返してもすべてが昨日のコトのように思い出されます。

第2回から実行委員会が主催し、第6回から私どもが主催をするようになりましたが、参加小学生は延べ1,900人を超え、学生スタッフも高校生スタッフを含めると1,200人を超えています。

全国各地で、ひよっとすると世界各国で、“おの100”に関わった青少年が活躍しているんだろうと想いを馳せますが、小学生は100km完歩の自信を胸に、観えない力に感謝しながら日々を過ごしているのだらうと思いますし、学生スタッフは係り任命までのリーダー養成をはじめ、年間を通じての人間力育成塾での学びを体現し、人のお役に立つために考動していると確信しています。

事業趣旨の一つである『市民参加のひとつづくり』を具現化して始まった協賛募集活動では、多くの企業・団体の皆さまが学生スタッフの実体験の機会としてご協力をくださり、そして、“本番”運営へ資金援助をくださっています。

『子どもたちが歩いてくれるから路を整備する気概になる。』と地域の宝物を次々に残すために活動されている方々に支えていただいたり、“本番”中、山あいのルートを歩いている際には、『こんなに大勢の子どもたちを見るのは1年を通して今日だけ。』と小学生の頑張りを応援し喜んでくださる方々に出会ったり、『若い人たちが研修会場に歩いていく姿を見るだけでも元気になる。』と楽しそうに話される姿を観ると、私たちが試練や苦勞にも感謝しなければと勇気をいただいています。

人生100年時代と言われる中で、多くの学生スタッフや社会人スタッフが“生きがい”や“やりがい”を見出し、更には、“おの100”の中でパートナーを見つけて結婚したカップルも20組を超えています。

4つの事業趣旨を目指し、ブレずに活動してきた成果だと思いますが、20年間タスキを繋ぐことが出来たのは、参加してくれる小学生があったからこそですし、我が子の挑戦に背中を押して下さったご家族の決断があったからです。

もちろん、小学生の受け皿となる学生ボランティアがエントリーしてくれたからですし、地域の方々が観えない力となってご協力をして下さったからこそです。

創世期に学生ボランティアから、『おの100はいつまで続けるんですか?』と訊かれることがありましたが、私は『おの100が必要とされない社会が来るまで』と答えていました。

青少年の実体験の機会はますます少なくなり、“おの100”が必要とされない社会の到来は観えてきませんが、これからも多くの皆さまのお力をお借りして、お役立ちを實踐して参りたいと思います。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

来賓祝辞

お祝いの言葉



尾道市長
平谷 祐宏

特定非営利法人おのみち寺子屋「おのみち100km 徒歩の旅」が20回開催の記念すべき節目を迎えられましたことに、心よりお慶びを申し上げます。

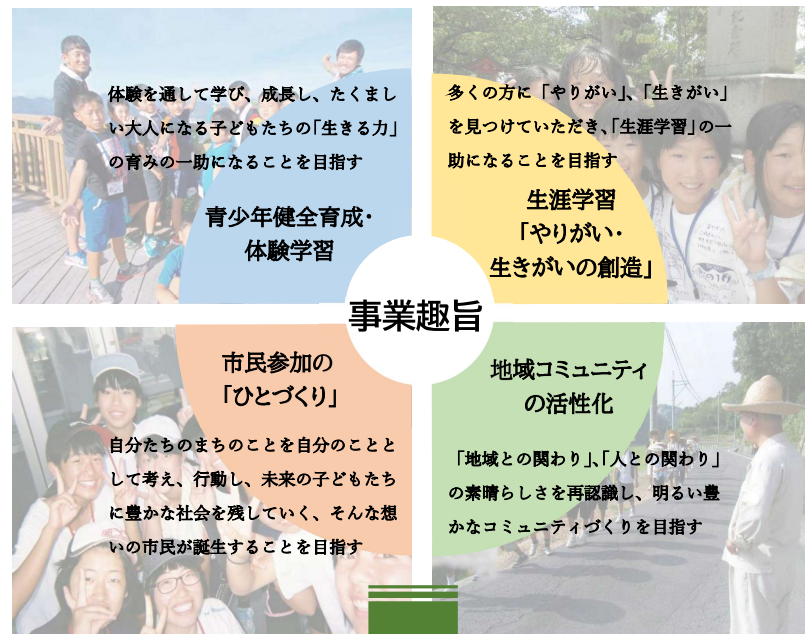
貴法人におかれましては、まちを構成する市民一人ひとりにスポットを当て、魅力ある人間を創造することで、尾道のまちの発展に寄与するという設立趣旨に基づき、これまで多くの子もたちに尾道のまちを100km 歩き抜くという実体験を通じた青少年健全育成の場を提供してられました。また、その活動は学生ボランティアや地域の方々をはじめ、多くの関係者の協力のもと成り立っており、自分たちのまちをより良く

していこうとする市民参加の人づくりや地域コミュニティの活性化に大いに貢献されており、深く敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が制限される中、おのみち100リーダー養成をオンラインで実施するなど、創意工夫を凝らしながら活動を継続され、十分な感染症対策を行ったうえで、「おのみち100km 徒歩の旅」を成功させたことは、子どもたちだけでなく、学生ボランティアの皆様にとって、今後の人生の大きな糧となったことと思います。

結びに、特定非営利法人おのみち寺子屋の益々のご発展と、多くの関係者の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、お祝いの言葉といたします。

おの100が目指すモノ



初めて出逢う子どもたちで班を組み、8月の真夏に、親元から5日間も離れ、クーラーもベッドもない不便な生活の中、子どもたちは仲間と100km歩き抜くことを通して…



を感じたり、身につけたりしていきます



一般社団法人尾道青年会議所
理事長 今岡 正英

この度「おのみち100km徒歩の旅」が20周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。並びに記念すべき式典の場にお招きいただきましたこと感謝申し上げます。

尾道青年会議所に端を発し、その後NPO法人おのみち寺子屋を立ち上げられ、脈々と受け継がれている貴事業は、尾道市内の青少年世代に対し大きな貢献を果たしてられました。これまで運営に御尽力されてきました役員、ボランティアスタッフ、関係各位に敬意を表します。

毎年活動報告書、学生リーダー・ボランティア研修生感想文集、参加小学生感想文集を拝読しております。企画運営を担っております学生スタッフ皆様の言葉からは、運営側から見た活動の意義や支え合いの精神を感じ取ることができ、小学生の言葉からは、参加側から見た気持ちの揺らぎや交流の楽しさ、達成する喜びを感じ取ることができます。

あきらめない心、助け合う心、励まし合う心が双方で芽生えることによって一体感が生まれるのだと改めて気付かせていただきました。支え合いながら乗り切る強さを体感できる掛け替えのない事業であると感じております。

今後も「おのみち100km徒歩の旅」が30周年、40周年と益々発展されますこと、また役員、ボランティアスタッフ、関係各位がご健勝で益々活躍されますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

1日目 ~出会い~

約14km 歩くよ!!

宿泊地の過ごし方

- 今日のアイスは……
スイカバー or メロンバー
- ストレッチや荷物運び競争もあるよ!
- お風呂はプール!!
水着は2階で乾かすよ。
- 1日目の夕食は、
みんな大好きカレーライス!
→子どもたちがどれくらい食べることができるのか知ろう!
- レクリエーションで、班のみんなと
もっと仲良くなろう〜!!
- 家族への手紙も書くよ。

START

千光寺公園グラウンド

100kmマップ



GOAL

三成小
宿泊地到着!



車が来てないか
自分の目で確認!

三美園団地

スポーツセンター

第1の難関!
瑠璃山

瑠璃山展望台で
初めての水かけ!



冷た〜い!!
気持ちいい〜!!

尾道の町並みや
文化財にも
触れることができるね!

5日間の コース紹介!

2日目

約22km 歩くよ!!

~挑戦~



GOAL

御調西小
宿泊地到着!

応援メッセージ!
元気になるね!



宿泊地の過ごし方

- 2日目のお風呂はプール♪
1日目より仲間も深まって
楽しいね!!
- 夜ごはんは親子丼!
親のことを思い出して、
ホームシックになる子もいるよ!

100kmマップ



木庄東小

朝ごはん
食べ放題!

START

三成小出発!

上川辺公民館

上川辺小学校

旧菅野小

第17回からの
ルート!
すがの古道を通るよ。
江戸時代から続く道。
竹林で涼しいね!



荷願寺の鐘
四通路



起床から出発まで…

- 学生は4時半(4時起床の係りも!)、
子どもたちは5時に起床だよ!!
- 朝起きて、洗顔、荷物整理、
ペットボトルへの給水をするよ!
- 救護係りによる、ラジオ体操もして、
しゅっぱ〜つ!!

300

約 24 km 歩くよ!!

忍耐

第12回からのルート!
島根の石見銀山から尾道の港まで、銀を運ぶのに使っていたそうです!



4日目
約 20 km 歩くよ

～感謝～



5日目 ～感動～

約 20 km 歩くよ!



- 歴代のゴール場所
- 第1回 土堂小学校
 - 第2回～第5回 尾道駅前緑地
 - 第6回 尾道市役所前広場
 - 第7回～第20回 尾道市民センターむかいま ところ

第12回は台風のため、4日に向東小学校で解団式をしたよ。



岩や石が多い山道だけど、班のみんなで声をかけ合って頂上を目指すぞ〜!! 頂上に着いたら朝食だ!

洋らんセンターでのハイタッチは元気がでるね! あとひと踏ん張りだ〜!!

コラム 歴代ボラに聞きました「ランキング」

もう一度するなら?! おの100やいたい係り ベスト3



*115人の歴代ボラから回答いただきました

名言ばかり?! おの100の好きな言葉 ベスト3

- 「過去が咲いている今、未来の蕾でいっぱいな今」
- 「できるかできないかではなく、やるかやらないか」
- 「できるできる必ずできる」

僅差だったけど...

「過去と他人は変えられない。変えることができるのは自分と未来だけ」やおの100スタッフ規定「積極的な行動」「謙虚な姿勢」「感謝の念をもつ」「愛情をもって接する」「自己管理を徹底する」を挙げてくれている人もたくさんいました!!

その他にも...

「全員完歩」(4th久下俊介(くげしゅん))という意見や「休憩や宿泊地に着いた時に“おかえり”とハイタッチする瞬間がすごく心に残っています。どれだけしんどくても、その一言で全てが吹っ飛び自然と笑顔になりました」(13・15~17th竹ノ畑咲綺) という意見も印象的でした(^_^)!

また、「ゴールに向かって一歩ずつ by 副団長しゅーちゃん」(7・9・10・13・14th石井訓温(ときほる))や「自分のためだったらここまでしないけど、みんなのため、子どもたちのためなら頑張る by にっしー」(19th吉荒瑠莉奈(あげちゃん))など、身近な存在からの言葉を挙げてくれている人もいました♪

20年のおの100の歩みを振り返る



今年で**20**回目を迎えた
おの100の出来事をまとめてみました！

1st

主な出来事

- 尾道JC主催でおのみち100km徒歩の旅をスタートする
- 初日の夕食として尾道ラーメンとおむすびを提供する
- テーマソングとしてSMAPの「世界に一つだけの花」を採用する

参加者内訳

小学生：45名
尾道JC：91名
学生リーダー：31名



初日は尾道ラーメンが
いただきマンモス！



記念すべき1stの立ち上げには
数多くのJCメンバーが携わりました



世界に一つだけの花
～プラスバンドver.～

2nd

主な出来事

- 「おのみち100km徒歩の旅実行委員会」が主催する
- 5日間のコースの見直しを図る
- 学生ボランティア募集方法を再構築する
- 「リーダー養成」の充実を図る
- 保護者参加者事前研修会を実施する
- 事業報告会を開催する

参加者内訳

小学生：59名
学生リーダー：36名

「リーダー養成」研修を見直し、
充実させました



たくさんの大学から大学生が
ボラとして集まってくれました！



3rd

主な出来事

- 申し込みが定員100名を大幅に超過し、抽選に変更する
- 2日目の宿泊地を御調西小学校へ変更する
- 大栄湯の利用を開始する
- 3日目レクリエーションとして太田神楽を行う

参加者内訳

小学生：102名
学生リーダー：63名

参加小学生がどどん！と増えました



大栄湯の利用がスタート！

近くで見る太田神楽は大迫力！



4th

主な出来事

- 学生ボランティア募集に学生が関わり始める
- 子どもたちの班を12班編成にする
- ボランティア研修生制度を開始する
- 水の購入を開始する

参加者内訳

小学生：112名
ボランティア研修生
(以下：ボラ研)：7名
学生リーダー：70名

4thから救護係りの三度笠が
赤く塗られるようになりました



ボランティア研修生制度の発足！



5th

参加者内訳

小学生：98名 ボラ研：4名
学生リーダー：58名
協賛企業 91社

主な出来事

- 協賛制度を開始する
- 学生ボランティアの募集を
前年の11月、12月と開催年の4月に実施する
- 1月～3月に第一次リーダー養成を開始する
- 小学生の募集対象を小学4年生～6年生にする



「第一次リーダー養成」
新しいメンバーが増える研修は
何年たってもドキドキです...！

6th

主な出来事

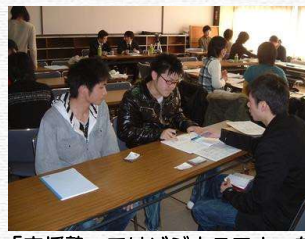
- NPOおのみち寺子屋に移行してはじめての100kmを開催する
- テーマソング「夢に向かって」を作成する
- 第一次リーダー養成を「支援塾」と改名し、学生ボランティアが協賛募集にもかかわるようになる
- 記録映像の撮影・編集を学生がし始める
- ゴールを尾道市役所で行う

参加者内訳

小学生：94名 ボラ研：10名
学生リーダー：76名
協賛企業 86社



「私たちが初めて学生で撮影・編集しました！」



「支援塾」ではビジネスマナーを学び、練習します！ドキドキ...



「みんなで歌う夢に向かって... 格別です」

参加者内訳

小学生：97名 ボラ研：7名
学生リーダー：67名
協賛企業 83社

7th

主な出来事

- 歴代ボランティアが社会人としてサポートし始める
- 千光寺公園グラウンドが芝生化工により使用できず、かおり館で結団式を行う
- ゴールを尾道市民センターむかいしまこころで行う



「かおり館での結団式」



「歴代ボランティアが本番をサポートするように...」



「こころでみんな涙のゴール！」

主な出来事

- 学生ボランティアの募集を前年の9月、10月と開催年の4月に実施する
- 前年の11月から第一次リーダー養成を始める
- 5日間の旅にマスコミ（NHK・広島ホームテレビ）が密着取材する

8th

参加者内訳

小学生：100名
ボラ研：11名
学生リーダー：60名
協賛企業 88社



「キャビネット制度の導入。事業継続の為に手探りが続きます」



「カメラ」 おの100密着取材☆

9th

主な出来事

- 歴代ボランティアによるアドバイザー制度を開始する
- 5日間の旅の中で東日本大震災復興の応援を実施する
- 報告書及び感想文集の印刷＆製本を印刷会社に依頼する
- 第一次リーダー養成のカリキュラムをプレリーダー養成と支援塾の2本立てへ変更する

参加者内訳

小学生：93名 ボラ研：14名
学生リーダー：68名
協賛企業 82社



「アドバイザーによるサポート♪」



「ボラ研作！復興応援ののぼり」



「3日目のレクリエーションがベッチャー太鼓に」

参加者内訳

小学生：101名 ボラ研：20名
学生リーダー：77名
協賛企業 80社

10th

主な出来事

- 10周年記念グッズとしてタオルを製作し、その収益を東日本大震災義援金に充てる
- 10周年を記念して、研修紹介DVDを作成する

「みんなで100km歩祈願」



「記念タオルの収益は東日本大震災の義援金へ」

11th

参加者内訳

小学生：109名 ボラ研：16名
学生リーダー：83名

協賛企業 84社

「学生が過去最多人数！全体写真も大迫力！」



「11thは唯一レク係りが単独の係りとして存在した期です」



12th

主な出来事

- 研修カリキュラムを再構築し、全体の事業名称を人間力育成塾とする
- 高校生スタッフの募集を開始する
- 「銀の道」をコースとして利用し始める
- 台風の影響により75kmのコース短縮を行う(残りの25kmは宿題として各家庭で行ってもらう)

参加者内訳

小学生：97名 ボラ研：15名
 高校生スタッフ：7名
 学生リーダー：62名
 協賛企業 92社

初年度の高校生スタッフたち！



初めて銀の道を歩きました！

連日、雨の中の歩行に！



15th

主な出来事

- 5日間の旅の記録映像ダイジェストを作成し、You Tubeにも投稿する
- 初代団長(KAKI)が団長としてラストイヤーを迎える

参加者内訳

小学生：64名 ボラ研：20名
 高校生スタッフ：1名
 学生リーダー：66名
 協賛企業 74社

KAKI団長の最後の雄姿を見に、多くの歴代ボランティアが駆けつけました！



KAKI団長とパシャリ☆



13th

主な出来事

- 第一回広島県ユネスコESD大賞 社会部門(映像特別賞)を受賞する
- 広島県教育奨励賞を受賞する
- 大学の授業日程の関係により5日間の旅の日程を8月6日スタートから変更する

参加者内訳

小学生：81名 ボラ研：17名
 高校生スタッフ：14名
 学生リーダー：54名
 協賛企業 84社

募集2年目にして高校生スタッフは過去最多人数に！



ユネスコESD大賞で映像特別賞をいただきました(^^)！

16th

主な出来事

- 2代目団長にしゅーちゃん(佐藤秀征)が就任する
- 西日本豪雨を乗り越えて開催する

参加者内訳

小学生：75名 ボラ研：15名
 高校生スタッフ：3名
 学生リーダー：64名
 協賛企業 84社

西日本豪雨を乗り越えて完歩していく意気込みを宣誓に乗せました



歴代完歩者でもあるしゅーちゃんが団長を務めました



14th

主な出来事

- 5日間、連日35℃を超える！

参加者内訳

小学生：84名 ボラ研：23名
 高校生スタッフ：5名 学生リーダー：69名
 協賛企業 90社

ボラ研過去最多人数の23名！すごい！そしてありがとう^^



暑い中100kmよく頑張りました！

17th

主な出来事

- 「すがの古道」をコースとして利用し始める

参加者内訳

小学生：86名 ボラ研：16名
 高校生スタッフ：7名
 学生リーダー：68名
 協賛企業 83社

暑い中でのミストは最高！！



「すがの古道」古き良き歴史ある道を進みます



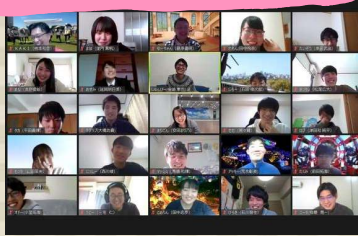
主な出来事

■コロナ禍により、17年間の観えない力への感恩感謝及び
次年度以降のおの100開催の地盤づくりを行う、
「感恩感謝の旅」を実施する

€18th

参加者内訳 高校生スタッフ：1名、
学生リーダー：41名
協賛企業 75社

なかなか会えないときはオンラインで研修も...



次年度以降の
100km参加の呼びかけ

感想文集



「感恩感謝の旅」の成果物です！



「夢に向かって」のMV

主な出来事

■宿泊を伴わない形で「おの100挑戦隊」
（「4日間の学習支援及び1日歩行」を2クール開催、
合計歩行距離を42.195kmに設定）を企画・準備するも、
本番直前のコロナ感染者の増加により活動の大半が中止になる

19th

参加者内訳

ボラ研：22名
学生リーダー：43名

子どもたちへの応援メッセージを
ボランティア研修生たちが考えてくれました！



ピンチをチャンスに！
中止になってもできることをやり抜きました



主な出来事

■コロナ対策を講じて3年ぶりに100kmを開催する
■コロナ感染防止のため、定員を50名に設定する

20th

参加者内訳

小学生：45名 ボラ研：6名
高校生スタッフ：5名
学生リーダー：53名

募集人数を減らしての開催



間隔を空けて縦2列で歩行しました

変わらぬ応援
ありがとうございます！！



コラム 歴代ボラに聞きました 今に生きているコト

おの100では何度も発表の機会があり、その度に緊張で上手く話せないなと悩んでいました。大学生の間に、自分は上手く話せるようになったなと思ったことはありませんが、仕事で活動報告を200人ほどの前でお話させていただいた時、初めて緊張を感じず、自分の話したいことが伝えられたと思うことがありました。多くの方にフィードバックを頂きましたが、それはおの100で学んできたことばかりだなあと嬉しくなりました。 9~12th 熊本悠子(くまちゃん)

人前で話すのが苦手だったため、12期の高校生ボランティアのグループディスカッションがすごくしんどかったです。現在勤めている接客業のお仕事にもいきていると思います。100人の前で話す機会をおの100で与えてもらったおかげで苦手意識も減って少しは喋れるようになりました。今は自分で飲食店を開くために色々勉強している途中で、いずれは尾道で自分のお店を持ちたいです。 6・8・9・12th 末永慎也(しんや)

顧客のプロジェクトメンバーをまとめ、イベントなどの施策当日までに士気を上げていく・チームとして強くしていくのも仕事の一部。その人の成長を願いながら、何とかこうにか関わろうとする姿勢は、間違いなくおの100で鍛えられたと思います。

11th 幸津菜莉(リーふ)

子育てや介護をする中で、葛藤の日々ですが、相手を変えることは難しいので、押し付けず、こちらの観方考え方(受け止め方)を変えながら接するようにしています。また、子どもたちや親とこうして関わられるのも今しかない、今この精神で向き合うよう努めています。

4~7th 今清水真衣(はっすい)

尾道のことが大好きだと思えたこと、地元をもっと盛り上げたい、貢献していきたいと思えたのはおの100のおかげです。大好きな尾道を愛情いっぱいの街にしたいと思い、この仕事をしたいと思いました。生まれただけの時期にいかにか愛情たっぷりの子育てを地域でできるか、考えていける大好きなお仕事です。 14・15th 越智真美(まみっぺ)

高校教諭として、生徒の人生に大きくかわるというやりがいも怖さもあります。最近、自分のやっていることが良いことなのか？これなのか？と考えてなかなか動けないこともあったりしましたが、おの100に来るたびに大事にしたいことを思い出せます。生徒には、幸せを自分でつかむと言いますが、何を幸せに感じるかは自分次第なんだという考え方を伝えたいです。私の大きな人生の目標が、「幸せの輪を作る」です。私がまず幸せいっぱいになり(笑)、周りの人に良い影響を与え、その人もまた周りの人に良い影響を与えるというサイクルを作りたいと思っています。

13・14th 佐藤知里(ハラチリ)

仕事、プライベート問わずさまざまな①ヒトとの関わり方 ②優先順位を付けた効率的な作業の進め方 ③リーダーとしての船の漕ぎ方(進め方)については間違いなくおの100の経験が生かされています。これから家族が増えていきライフスタイルが変化し続けていっても、おの100で教えて頂いた軸を持って生きていくことは間違いありません。

11~13th 荒木菜奈(こにたん)

苦しいときに、100キロを歩いたことを思い出すと、元気をもらえます。 15・16th 村田亮登(りよーと)

人を大切にすることを本当に教えていただいたので、周りの人も自分のことも大切にすることを心がけているつもりです。 5~8th 濱田ゆり子(ゆりこ)

0ベースで物事を考え、企画を創る。組織づくり。諦めない心。 4・5th 重廣孝(しげ)

思い出しているのは、PTAの旗振り当番ですね。横断歩道で小学生が安全に渡れるように持ち回りであるのですが、班付きサブ時代を思い出します。小学校によってある所とない所があるので、あったらぜひ楽しんで！うちは未就学児の子どもに旗を取られます。 4・5・7th 黒川瑠衣(るい)

私は私の選択次第で大きく変わる可能性もある、ということも同時に認識し、迷った時には大変だとしても、私にとってプラスが大きそうと感じられた方へ進むようにしています。 13~15th 高橋真奈奈(まりな)



突撃!!

未来を

New



担う

Hope

たち

①おの100の好きなところ
or
②来年はこんなおの100に
を20期生に聞いてみました!
(例)①or②/学年/
名前/ニックネーム

コラム 歴代ボラに聞きました おの100の思い出

離隊して歩いている時、野生のサルに遭遇し、それまで歩こうとしなかった子どもが「はじめて野生のサルを見た！」と、急に元気を取り戻したこと。
20th 屋代千尋(ヒロシ)

遅れた子と2人で一緒に歩いていた際、三度笠を被っている姿を見かけた、一般のおばあさんが、「珍しい三度笠、どこで売っているの？」と話しかけて頂いたことです。2人だけで本隊に合流するまで歩いている間は、私自身も心細いものがありました。そのような、沿道での応援や、会話はとても勇気づけられるものがありました。
5~6th 宮内亮(大将)

係りのサブチーフになったものの、メンバーとの関わり方や自分の役割がつかめなかった自分。自棄になって自分の本音を押しまつていた時に、チーフが「俺とお前と、2人でこの係りを引っ張っていくんだから。1人で悩んで1人で閉じこもるな」「お前は どうしたい」とぶつかってきてくれました。
14~16th 高木新太(しんた)

12thの台風直撃！
9・10・12th 佐藤秀征(しゅーちゃん)

ホームシックで毎夜脱走を試み、朝は荷物にしがみついて泣いていた班の子ども。歩行中に私がボールペンを借りて「〇〇、これいつ返したらええ？」と訊くと「ゴールのときでいいよ」と言ってくれた。歩きながら泣きました。
11~14th 近藤奈々(はくちゃん)

休憩地で班員が爆睡して起きなかったこと
17th 福田烈司(カッピー)

小学生の時、歩調コールをKAKIさんに振ったことがある(笑)
4~15th 山田悠生(ゆうき)

みんなでゴールに向かって1歩1歩歩いていく中で、友情や信頼関係などが築きあげられて、ゴールした時の感動と達成感は今まで味わったことがないほど強く印象に残った。
14~17・19・20th 高地満天(まんてん)

15th 解団式後の舞台袖でのKAKIさんの涙
13~15th 木曾裕介(YOUすけ)

全然泣くような性格じゃないのに、3日目からガチ泣きばかりしてました。
20th 正野大輔(だいちゃん)

班の子どもたちが、すね毛大好きに成長(笑)
10~12th 藤井皆人(ぼーと)

自分の班だった参加小学生の子が歩くのが苦手で、SNにお世話になることが多かったのに、翌年100km歩く時に他の子をリードしているような言動があったときに感動しました。
15~17th 井川菜津子(イカちゃん)

2021年夏季に実施するはずだった体験の機会が(コロナ感染者が増えたことで)中止となり、皆で泣き合ったことが今でも印象に残る思い出です。その悔しさをバネに学びの機会では最大限のことをやりきり、最後は皆、笑顔で集合写真を撮っていたことも鮮明に覚えています。
18~19th 宮脇歩花(ayu)

体育館に泊まるということが想像以上に暑くて驚きました…。
20th 宇佐美若菜(わか)

14th 全員完歩できた時。最終学年として引っ張る立場として無事に全員完歩できたことが誇りです。当時の学生リーダー、子どもたちには本当に感謝しています。
11~14th 森優太(もんりや)

班の子どもが発熱の中歩き、宿泊地に到着した時、班員はもちろんボラ研や他の学生リーダーから「〇〇、頑張ったね！」と声をかけられている瞬間を観た時、とても・とても胸が熱くなりました。
15・16th 竹野下諒(ピット)

どれだけ辛くて苦しい思いをしても数年経てばまたあの夏に戻りたいと強く思えるところです。

戻れば「おかえり」と暖かい声で迎えてくれる、アットホームな環境がとても好きだなと感じています。
13, 15~17th 竹ノ畑咲綺

人の成長を長い目で見守ってくれるところ
4~7th 原みのり(のり)

小学生だけでなく、どの学年においても自分の限界値をのませるところ
7・9・10・13・14th 石井訓温(ときはる)

自分に自信がつく！！
6~14th 平井帆乃夏(ほのか)

学生が色々な活動を通じて、真面目にやったりアホやったりして、成功したりミスしながら、心を動かしたり、動かされたりするような「まなび」を得ることができること
15~18th 大橋功資(ラブラブ)

おの100の好きなところ

おの100に関わる全ての人の優しさや愛！こんなに愛溢れる方々に出会ったことない！
20th 大熊彩華(くま)

広島や瀬戸内海の魅力を体と心で味わえること、子どもたちや仲間たち、自分自身など「人」と真剣に向き合い学べること
15~17th 坂崎結萌(ゆーぼー)

相手の考えや気持ちを受け入れることができる雰囲気、話を聞いてもらえる安心感、挑戦しても失敗しても恥ずかしくない場所、仲間と高め合えるところ、仲間の姿から一歩踏み出す勇気とがんばるパワーをもらえるところ、などなどプラスのパワーが溢れているところ
4~6th 益田のみ子(るん)

おの100の事業趣旨、KAKIさん、おの100に集まる人達
10~13, 15~18th 延岡明日美(あすみ)

誰かのために涙を流して行動できること
15~18th 石川啓生(びるき)

頑張った分必ず返ってくる！大好きがいっぱい増えるところ！
14~16th 近藤ほのか(こんちゃん)

仲間
5・6th 下山智恵美(ちえみ)

一つひとつの事にとことんこだわって取り組むところ。弱いところも見逃さずに向き合ってくださいるところ。
20th 松田涼香(すっちゃん)

全力でやって、それを笑うような人がいないこと。だれもが、誰かのために、何かのためにと考えて動いていること
11・12・14~17th 杉原成望(なるみ)

「みんなで」本気でやる空気が好きです。個性があって、面白いところが、好きです。
14・15th 横松礼華(もなか)

おの100 **LOVERS** に思い出インタビュー

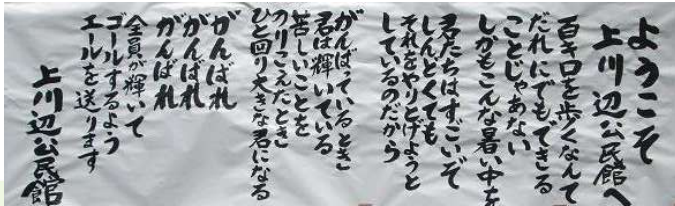


1st副団長兼 JC 議長
瀬尾史宏さま

♥ 第1回おの100の4日目。雨が降って、翌日歩く予定の高見山が歩きにくい状態になった。“本当に歩けるかな？”と前日に確認したが、歩ける状態じゃなかった！ JCメンバーで寝ずに明け方まで整備した記憶がある！！

♥ 4日目に因島大橋を渡るとき、高所恐怖症の子どもがいて、なかなか渡れなかったんよ。大学生ボラが「目をつぶって！ 手をつないであげるから！」と言いながら渡っていたのは覚えてるなあ～！

15th～17thまでメモを忘れたので書いていた



元上川辺公民館館長
亀川正臣さま

♥ 最後までその人に残るのは“教育”の部分。100kmの経験は一生忘れないよ。人生で何かにぶちあたったときに、本当の教育が身についたらふんばったり乗り越えたりできる。この100kmは“教育”だ。

ベッチャー太鼓
坂本勝己さま



♥ どこにでも(依頼されたら)行くわけじゃない。尾道の子が頑張るとるけん。つながりを大事にしとるから。

向東公民館館長
仲原美子さま



♥ 誰も評価しないところでも、誰かに見られなくても、120%の力で与えられた仕事を取り組むところがすごい！！

元参加小学生保護者
山瀬みゆきさま



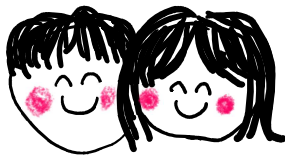
♥ わが子にとって居場所になっている。「おの100のみんなに会いたい」とよく言っている。
♥ 今年高校生スタッフとして参加したが、“どうやったらいいか”を考えるのが楽しかったらしい。よく、大学生の真似をしたがります(笑)

♥ 小学生だけじゃなく、中学生・高校生で行けたのがよかった。準備を含めて裏を知ってよかった。親も小学生のときは班付きにばかり目がいていたが、裏の人が見えてきて、存在の有難さ、大変さが伝わってくる。

♥ 当時は抽選だったが子どもは受かりたいばかり(笑)その分、受かったら大喜び！

♥ 初日に団長の坊主姿を見て「夏が来た」と思う(笑)

元参加小学生 保護者
浅野義博さま・恵子さま



♥ 誰に言っても胸を張れる経験！！おの100を知らない人によく説明している。

♥ 帰ってしばらくはいい子。別人のように帰ってくる。(大学生が)定期的に見てくれたらしいな(笑)



毎年、銀の道の歴史や花火の観覧を語ってほしいです

小川正治さま

♥ こんな素晴らしい若者がいるんだ！！捨てたもんじゃない！（研修にも参加したが、）研修では手を挙げるし、どんどん喋ることにびっくり！
♥ 子どもたちが銀の道を歩いてくれるから準備ができる。歩いてくれることがやりがいになる！
♥ 現実には厳しいかもしれないけれど、おの100で経験したことが埋もれ火として残っていれば、（今後何かあったときでも、その火が大きくなって）勇気をもって行動を起こす人になってくれると思う。

大柴湯 半田和弘さま・恵子さま



♥ 子どもたちが温泉に入ってくれることが嬉しい。こんな温泉あるんだな、と知ってもらえるだけでもいい。おの100が続く限り利用してもらいたい。
♥ 「毎年のれんが楽しみです」と言ってくれたことを覚えてて、デザインも選んでいる。

おの100の子どもたち



元参加小学生保護者 新宅記枝さま

♥ 息子が「おの100はいい。有難い。感謝しかない。俺にはできない」「知らない人ともかかわれるようになった。誰とも仲良くなれる」と言っていた。
♥ 班付きから手紙をもらって話になる。懐かしい気持ちになる。T シャツや班グッズも大事に取っている。子どもが「捨てたらいいけん」と言います

元参加小学生保護者 綾目美穂さま



♥ 解団式での言葉で、声が出ない子どもたちがたくさんいた。みんな一生懸命頑張ってきたんだなと思った。泣きながら話す姿に、衝撃、すごいな、感動…
♥ 子どもたちはキャプテンしたり、児童会に立候補したり。リーダーシップをとれるようになった。
♥ 学生の指導がすばらしい。指導したからと言ってすぐできるわけじゃないから、学生も素晴らしい。どうやったらこういう人が生まれるんだろう？すばらしい以上の言葉がない。毎回学生一人ひとりの対応や気配りが素晴らしい。

元参加小学生保護者 杉原智美さま



♥ 忍耐力がついたと思う。大変なことがあってもただけど、やめない。「しんどい」とか言わない。
♥ ゴールした後、毎年班の子やボラ研の仲間とず～～～と一緒について写真を撮ったり、T シャツを書いてもらったり。「まだ帰らんのん？」と思っていた(笑)

♥ (17thコース検討に来た主催者と出逢ったが)通ってほしい道をコースにいていないことが発覚し、理事長に直訴しにいったなあ～！「これはいかん！」「歩いたら(すがの古道の)良さがわかる！」「もう1回整備するけん、直々に見てくれ」と言った記憶がある！

♥ おの100が“すがの古道”を通ってくれて、御調中央小4年生が通ってくれた。おの100が通ってくれた実績があってこそだと思う。



柿の木会 (左から)後藤克彦さま
宗八重子さま、栗原靖さま、内海雅文さま

当日の仲間とた〜んまり語り合いました。

座談会

3rd~8th (左上から)澤田光和(みわ)・松川正人(カワちゃん)・佐藤浩幸(ひろあき)・武井亮(まこ)・濱田ゆり子(ゆりこ)・川岡由依(えっく)・廣本祥一(ヒロんぼ)・今清水真衣(はっすい)・池尻巧(池ちゃん)・重廣孝(しげ)・益田のみ子(るん)・國富得平(しょうちゃん) 写ってはいませんが土居真衣(まいまい)・池田夏樹(なつ)・國富明代(あき)も参加していました♪

- 👍 10年以上会ってなくても、おの100の話題ですぐ盛り上がりです。座談会は4時間があつという間でした！すてきなご縁をありがとうございます！！大学を超えてかけがえのない人たちと出会えたことは本当にしあわせです。
- 🕒 本番の夜のミーティングは 0:00 過ぎることも…そして朝は 4:00 に起きる係りも！！(もはやブラック企業？(笑))今では絶対できない！若いつて素晴らしい！
- 🚗 今考えると 20 歳前後の学生が2トラック、ハイエースを運転していたなんてすごい！普段乗り慣れてないから運転が大変だった！！5th で2トラック縁石乗り上げ事件発生！「おわったー」と思ったらいい。瑠璃山の運転は半端なくやばい！！
- 👤 坊主にする人続出！！気合を入れるため、8月6日が近づくと坊主にする人が続出！「本番が近づいてきたなあ」と実感。
- 📺 8th は迷走期？団補になるため課題図書を読んだり、スピーチをしたり、学生が研修をしたり！テレビ取材、隊長制度など8th 限りのことがたくさん…今まで繋いでくれている学生のみなさんに感謝でいっぱいです！ありがとう！！
- 👦 子どもたちの成長にびびり！当時の小学生たちも 20 代半ばになっていることに衝撃！月日の流れを感じます…
- 🤝 協賛活動は貴重な体験！！ビジネスマナー、協賛活動は社会人になって本当に役立っています！手を震わせながら企業さんへ電話しました！ドキドキ！KAKIさんと企業さんとのアツい信頼があるからこそやっていただけたことに感謝！
- 🙏 コロナ禍も乗り切って、今まで繋いできてくれた学生のみなさんに感謝です！ありがとう！



16thキャビネット 近藤ほのか(こんちゃん)・岡田朋将(ダカオ) 小坂祐貴(サクサク)・廣瀬麻理(らてい)・吉川千砂子(さうちゃん)

- 👍 (16thは西日本豪雨を乗り越えての開催だったため)本番できるのかね？と思った！！ルート変わるし、研修も事前徒歩もできなかった！施設の下見も、もう1回行き直したりしたこととか、新しい施設を使うことになったり。結構、でかい事件が起きた年だね。そんな中でも皆よく歩き切ったなあ！
- 👍 おの100が今につながっていることといえば、おの100で性格を変えられた。4年間での影響大！あとは、できる！挑戦すること。おの100が挑戦の場をたくさんくれたから、今の営業の仕事にも活かしている。やってみたらできるかなと思って、挑戦できる！
- 👍 ※この日、ダカオの奥様が産気づいて、無事出産されたそうです♪おめでとう！！



1st副団長兼 JC 議長 平裕一(さま)を囲んで with 佐藤由里・1st 完歩者 佐藤秀征・森田水加穂

- 👍 初代団長は多くを語らん、深い。当時は団長の考えを推し量って動いていた。「木を見て森を見ず」はダメとよく言われてたな…
- 👍 失敗するから得られることがある。失敗の漢字は失う、じゃけど、失うことはない。そういうことを子どもたちに伝えてほしい。
- 👍 当時はかっこつけよ(笑) 女子班とよく一緒に歩いとるね(笑) 宿泊地では男子と遊んだな～
- 👍 やっぱり平さんはかっこいい！！(第1回完歩者・佐藤秀征より)



6th2 班:班付きリーダー 川岡由依(えっく)・木曾夏季・柿本真琴



- 👍 とにかく2班は元気だった！みんなよく歩いたし(一度もSNIにお世話にならなかった！)、ご飯もよく食べたし(おかわりたくさんしてたし、めっちゃパン食べてた！)、すぐ寝てたね(見守り？必要なかった！)♪
- 👍 最初からなつきは元気で、明るくて、まことはしっかりしてて。他の子たちもどんどん仲良くなって、4 日目くらいにはほんとみんな姉妹みたいに仲良しだったね♪私とかウ(サブリーダー)の関係もよかつたし仲良かったから、班みんなで仲良しになって楽しかったね。あんまり歩いたこと記憶はなかった(笑)

11・12th ボランティア研修生 三島夢乃&野田楓花

with 富吉紗季(おかび)・藤井皆人(ぼーと)・日高葉月(はっち)

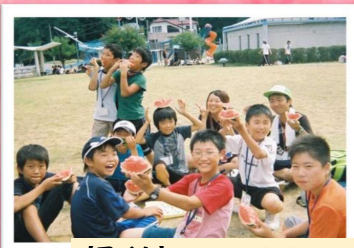
- 👍 (当時の大学生ボラと喋ると)いつでも中学生になる気持ち！
- 👍 おの100やってる人はみんな優しい。自然とそれが受け継がれてるよね。やってたらそういう人になっていく。優しい心、めっちゃ培われた！
- 👍 おの100で食べるスイカが一番おいしい！！
- 👍 ボラ研は事前にする研修が楽しい！(学校では話し合いが進まないけど)みんなが真剣に話してて、滞らない気持ちよさがあるし、ちゃんとみんな考えてくれるから楽しい。
- 👍 また小学生として歩きたい！小学生ってほんと、至れり尽くせりよね(笑)
- 👍 ふわつとあたたく迎え入れてくれる。ぽつぽの湯のシルクの湯の、ちょうどいい温泉みたい。人柄があつたかい。ずっとおりたい気持ちになる。



9th ボランティア研修生 (左から)浅野可奈未・田辺千尋・柿本真琴・河内緑・山田悠生・益本哲弥・堀本陽介・溝口雄也



- 👍 参加小学生やボラ研として参加していた時は、学生スタッフがすごく大人に見えていたけど、いつの間にか学生スタッフはみんな年下！！
- 👍 おの100あるある(笑)
 - ① 旅立ちの会で男子は変装、女子は組体操とかクイズ。団長のキャラ設定が面白くて毎年楽しみ。
 - ② ゴール後解団式で1人ずつ感想を言う時、感動のあまり泣く子がいる。
 - ③ 参加していない期でも、ゴールを見ると感動する。
 - ④ あつという間で、気がつけば5日間経つ。
 - ⑤ 気づかぬうちにあざが出来る(笑)



【スイカ】 木曾青果(有) 様

【夕食(米)】 草野大地 様

【ガス】 青木プロパン(株) 様



【氷】 尾道冷凍工業(株) 様
中央冷蔵(株) 様 大里つりえさ(株) 様

【夕食食材】 (株)西山旅館 様

【車両レンタル】 トヨタレンタカー 様



【テーマソング作曲】
大田 桜子 様



【朝食】 市川製菓(株) 様
丸芳製パン工場(有) 様
ファミリーマート東尾道店 様
ハローズ 様



100kmを
支えて下さったみなさま
thanks a lot...

【ポスター】 せいカメラ店 様



【渡船】 向島運航 様 福本渡船 様

【記念Tシャツ】 総合衣料ももたに 様



【三度笠】 (株)カサマヤ物産 様



【銭湯】 大栄湯 様



【式典備品】 (有)朝日屋 様



【レク指導】 柿本清司 様



【昼食】 (有)大丸日本料理場 様
本家かまどや 様 (有)やすもと 様
セブンイレブン尾道向東店 様



【レクゲスト】
太田神楽保存会 様
ベッチャー太鼓 様



【販売用写真】
フォトショップキャンパスいしだ 様



【テーピング指導】
(株)タシマ創健 様



夢に向かって

作詞：柿本和彦 作曲：大田桜子

暑い真夏の 贈り物 君との出会い 忘れない

勇気を出して 声掛けた 君は微笑み くれたよね

一人だけでは くじけてた みんなの支え あったから

観えない力 あったから みんなと共に 歩き出そう



くじけそうに なった時 ゴールを見失い 掛けていた

歩けないのは なぜだろう 弱音を吐いて 歩かない

強い想いを 持った時 力が自然と 湧いてきた

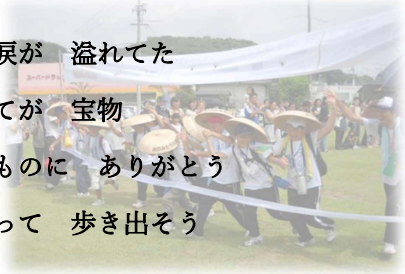
先ずは一步を 踏み出そう 想いを持って 歩き出そう

白いテープを 切った時 なぜか涙が 溢れてた

苦しかった 辛かった 今はすべてが 宝物

当たり前が 有り難い すべてのものに ありがとう

完歩の自信 胸にして 夢に向かって 歩き出そう



テーマソング作成秘話?!

オリジナルのテーマソングを作ろう!という話になった、第6回おの100。

知人との繋がりによって、あの大田桜子先生に作曲していただける可能性が浮上しました。

大田先生に尋ねてみると“作曲については前向きに考えるので、詞を見せて欲しい”とのこと。

作詞をするために、おの100での学びや人生に通じることなど、

伝えたいことをキーワードにして抽出し、作詞をしたKAKI団長。

大田先生へ1時間にも亘るプレゼンを経て、無事作曲していただけることになりました!

思いがけず、すんなりと受けてくださったので、KAKI団長は天にも昇った気分だったそうです♪

それから1か月あまり経った3月の終わりに大田先生からの封筒が届き、中には、お手紙と2枚の楽譜。

今でも、大田先生から送られた楽譜はKAKI団長の宝物なのだそうです♪

Special Thanks!!

一祝辞を寄せてくださった平谷祐宏さま、今岡正英さま

—5日間のコースを描いてくださった

竹邊沙彩さま(1日目)、大久保優子さま(2日目)、

面地紀実さま(3日目)、岡田美空さま(4日目)、宇佐美若菜さま(5日目)

—インタビューにご協力いただいたみなさま

—座談会やアンケートに協力してくださった関係者のみなさま

—そして、これまで20年間おの100を支え、

応援し、関わってくださったすべてのみなさま



熊本に住んでいてコロナ禍もあり、少し遠くに感じていたおの100でした。しかし、記念誌を作成するにあたり、様々な人と関わり、思い出を振り返る中で、大学時代も今もこんなに温かくて、自分らしく輝ける場所に私はいるんだなあ、幸せな気持ちでいっぱいになりました。

記念誌を読んで、それぞれのページにいろんな想いを馳せていただけるといいなあと思います♪

吉川千砂子(さらちゃん)

歴代OBOGは勿論、元参加小学生や保護者の方、おの100を長く支えてきて下さった方の言葉に触れている間、私はいつも心が震えていました。紡ぎ出される言葉には、おの100への信頼、愛情、期待が滲んでいたからです。紙面の関係上、お話の内容を全て載せられないことが何より苦しいですが、私がおの100を代表していただいた想いを少しずつ、今後に還元していきたいと思えます^^ また、20年間必勝の信念で継続された柿本理事長に心から感謝いたします。

森田水加穂(しの)

あつという間に記念誌発行まで来てしまいました。記念誌作成をする中で、ちょこちょこzoomをしては3人でわちゃわちゃ話すのが楽しかったです。9月には記念誌合宿も開催し、大学生に戻った気分でした¥(´ω`)/

記念誌を読んでここに載っていない、皆さんそれぞれのおの100の思い出を思い出していたら嬉しいです!

高橋真吏奈(まりな)